

2008年4月

【2008年度事業計画(案)】

まず、今年度の事業計画(案)である。正式決定は、5月の定時総会の決議を待たなければならないが、慣例により、本日、案つきのまま公表する。概要について、3点に絞って申し上げたい。

(事業の総点検)

ポイントの1つ目は、関西の新たな発展を目指した取り組みを、積極的に展開していくために、全事業を総点検して関経連がなすべきことを精査したことである。昨年10月に発表した100日タスクの検討結果を踏まえ、事業の選択と集中について議論し、関西の新たな発展を導く事業として今後3年程度取り組みを強化・拡大していく事業、現状を継続する事業、さらには、相手方と協議をしながら今後3年程度をかけて他団体への移管や撤退を進めていく事業、という3段階に区分をした。

(新たな発展をデザインする)

ポイントの2つ目として、「関西の『新たな発展』をデザインする」観点から、これを実現する4つの基本方針を掲げた。100日タスクを公表する際、「関経連は、関西の再生から新たな発展をリードする役割を果たすべき段階を迎えた」と申し上げたが、本年は、タスクで明らかにした関経連のミッションを具体的な事業活動に落とし込む「デザイン」をする年だと考えている。

まずは、新たな発展を導く事業への重点化を図るという意味で、新たな発展の道筋をビジョンとして描くとともに、そのための都市機能の整備に取り組む。また、関経連が新たな発展を支える組織となるため、調査研究や情報受発信などの事務局機能の強化に努めることとしたい。これら4つを基本方針として、具体的事業を展開していく。

## （新・関西ビジョンと大阪駅北地区開発）

ポイントの3つ目として、今年度の特色を色濃く表している重点事業を紹介したい。まず重点事業8の「新・関西ビジョン(仮称)の策定」である。100日タスクで示した「強い産業の実現」と「アジアとの共生」をめざし、概ね10年先を見越しながら、どのような関西にしたいのかというビジョンを示したい。昨年度から事務局内に横断チームを設置して事前調査を行ってきており、それを踏まえながら、今年度、本格的な研究会を設置し、産業のあり方も含めた関西のあるべき姿を、地球環境問題、高齢化・少子化問題なども含めて議論していきたい。

次に、大阪駅北地区開発に関する3つの重点事業である。まず、ナレッジ・キャピタルの位置づけを明確にしていきたい。さらには、その中でのアジア太平洋研究所構想についても中身を詰めると共に、第2期の大阪駅北地区のまちづくりについても大阪市に積極的に働き掛けながら推進していきたい。いずれにせよ、ナレッジ・キャピタルを中心として、関西に広がるいろいろなクラスターが情報や知財の結節点となるような形づくりを進めていく。こうした都市機能のあり方を調査検討するとともに、成果を積極的にPRし、構想実現に向けた支援を行うことで、関西の新たな発展に寄与してまいりたい。

### 【「環境・エネルギー技術・製品事例集」について】

関経連では、地球温暖化問題解決のためには、全ての主要排出国が参加し、世界全体で温室効果ガスの排出削減に取り組むべきであり、日本は優れた技術で世界に貢献すべきである。すなわち、アジアをはじめ海外と、わが国企業の間で環境・エネルギー技術・製品等のビジネスが活発化することが重要と主張してきた。

わが国、中でも関西では、世界に誇れる優れた環境・エネルギー技術や製品を有する企業が多数存在している。このたび、これらの技術・製品等の情報を集約し普及啓発を行っていくため、関経連会員各社に対して情報の募集を行い、24件の事例を紹介する冊子を作成した（日本語・英語・中国語版）。

今後、ミッション派遣時やサミット環境大臣会合の関係イベント等で当冊子を活用するなど、積極的に中国をはじめとするアジア各国等に普及啓発してい

く予定である。また、会員への追加募集を行うとともに、外部関係機関の協力も得ながら、関西は環境先進地域であることをアピールするため、さらなる内容の充実を図っていききたい。

この取り組みを通じて、アジアをはじめ海外とわが国（関西）企業の間で環境・エネルギー技術や製品のビジネスが活発化し、持続的な発展や地球環境問題の解決の一助となればと思う。

以 上